

令和2年度 決算と
令和3年度 上半期

令和2年度の決算の状況および令和3年度の9月30日現在の予算額の執行状況について公表します。この財政事情は町民の皆さまに町財政の状況をお知らせし、その実態についてご理解をいただくためのものです。

有田川町の 財政事情

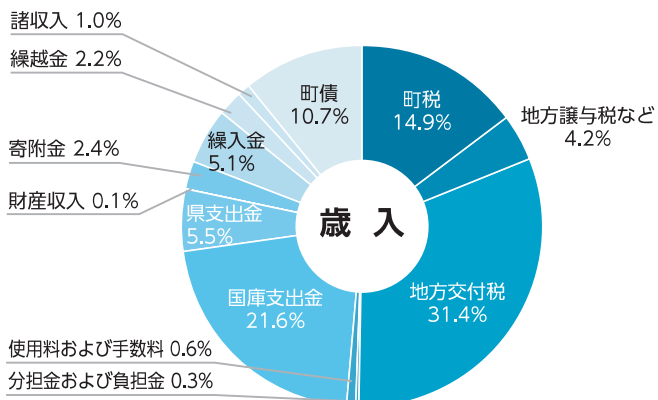
令和2年度 各会計の決算状況

会計区分	収入済額 ①	支出済額 ②	差引額 ③=①-②	翌年度へ繰り 越すべき財源 ④	実質収支額 ③-④	令和元年度末 地方債残高
一般会計	209億7,519万円	203億5,347万円	6億2,172万円	2億5,988万円	3億6,184万円	175億1,685万円
国民健康保険事業特別会計	34億4,348万円	34億3,905万円	443万円	0円	443万円	0円
介護保険事業特別会計	31億8,627万円	31億2,300万円	6,327万円	0円	6,327万円	0円
後期高齢者医療特別会計	7億9,896万円	7億8,855万円	1,041万円	0円	1,041万円	0円
簡易水道事業特別会計	5億3,592万円	5億3,295万円	297万円	227万円	70万円	22億1,613万円
農業集落排水事業特別会計	2億9,855万円	2億9,855万円	0円	0円	0円	11億47万円
簡易排水事業特別会計	182万円	182万円	0円	0円	0円	349万円
浄化槽事業特別会計	654万円	654万円	0円	0円	0円	2,411万円
かなや明恵峡温泉特別会計	5,663万円	5,663万円	0円	0円	0円	0円
特別養護老人ホーム等事業特別会計	2,466万円	2,244万円	221万円	0円	221万円	0円
公共下水道事業特別会計	20億3,394万円	20億3,394万円	0円	0円	0円	94億2,579万円
岩倉財産区管理会特別会計	0円	0円	0円	0円	0円	0円
粟生財産区管理会特別会計	39万円	0円	39万円	0円	39万円	0円
城山山林財産区管理会特別会計	194万円	0円	194万円	0円	194万円	0円
八幡山林財産区管理会特別会計	89万円	72万円	17万円	0円	17万円	0円
安諦山林財産区管理会特別会計	8万円	0円	8万円	0円	8万円	0円
合計	313億6,528万円	306億5,767万円	7億761万円	2億6,215万円	4億4,546万円	302億8,683万円

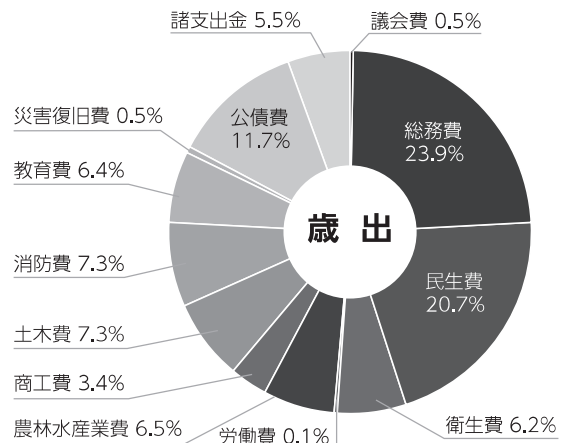
※前年度からの繰越事業分も含まれています。また、端数処理のため合計欄等の数値が一致しない場合があります（以降の表についても同じ）。

令和2年度 一般会計の決算状況

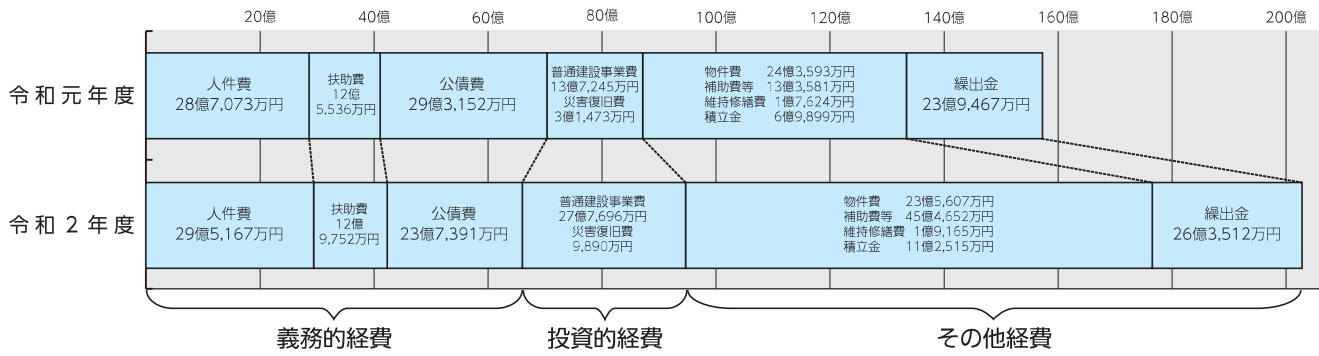
収入 209 億 7,519 万円



支出 203 億 5,347 万円



令和2年度 一般会計（歳出）性質別決算額



令和2年度決算の概要

歳入

前年度と比べて47億3077万円
の増額となりました。項目別で増額・
減額となった主なものは次のとおり
です。

- 増となったものと
- ・ 寄附金
- ・ ふるさと応援寄附金
- ・ 国庫支出金
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策関
連事業にかかる国からの交付金

歳出

前年度と比べて45億6704万円
の増額となりました。項目別で増額・
減額となった主なものは次のとおり
です。

- 増となったもの
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策関

連費

（特別定額給付金事業、新型コロナ
ウイルス感染症対応地方創生臨
時交付金活用事業など）

- 減となったもの
- ・ 災害復旧費
- ・ 大規模災害が発生したことに
よるもの
- ・ 公債費
- ・ 繰上償還額の減

目的税等の使途の 明確化について

・ 入湯税については、環境衛生施
設、鉱泉源の保護管理施設およ
び消防施設その他消防活動に必
要な施設の整備ならびに観光の
振興に要する費用に充てる目的
税であることから、観光振興基
金へ積み立てています。
・ 地方消費税交付金の社会保障財
源化分については、老人福祉費
および障害者福祉費へ充当して
います。

一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人あたりの町税負担額は
11万9,524円（前年比0.3%増）

1人あたりの町債残高は
67万2,432円（前年比0.8%増）

※人口（令和3年3月末現在）2万6,050人

用語解説

一般会計・特別会計／さまざまな事業に対応するため、収支が複雑
化しないように財布を分けています。一般会計は行政運営の基
本的な経費を網羅して計上した会計であり、特別会計以外の全
ての経費は一般会計で処理しています。一方、特別会計とは、
一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して
処理するための会計です。

実質収支額／形式収支（各会計年度における歳入総額から歳出総額
を単純に差し引いた額）から、翌年度への繰り越すべき財源を
差し引いた額。

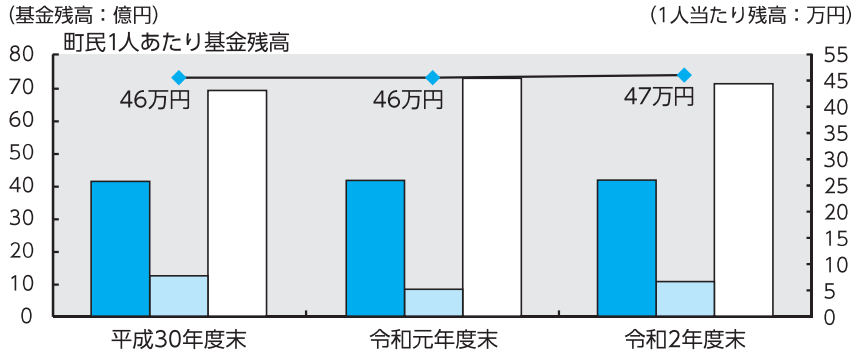
町債／特定の歳出に充てるため、町が年度を超えて元利を償還する
借入金のこと。

令和2年度 公営企業会計の決算状況

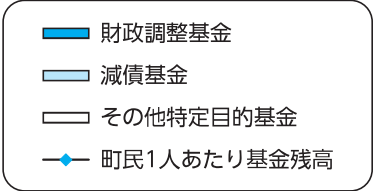
※税込み

水道事業会計	収入済額	支出済額	差引	令和元年度末地方債残高
1. 収益的収支	5億2,071万円	3億8,783万円	1億3,288万円	4億7,751万円
2. 資本的収支	2億4,356万円	3億1,525万円	▲1億1,140万円	

基金残高の状況



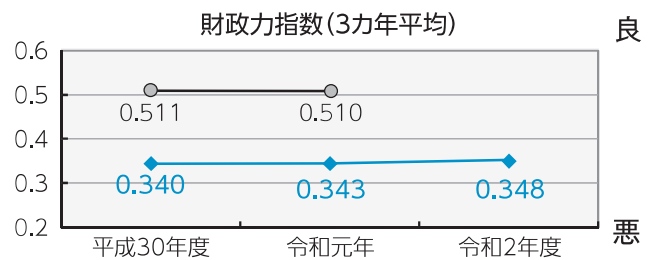
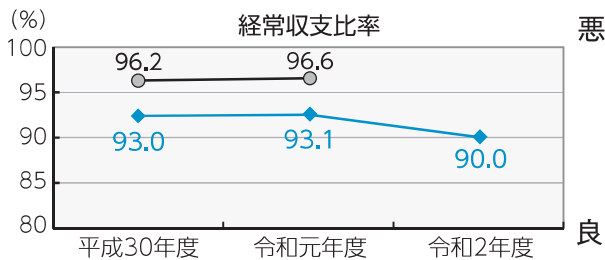
基金種別	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末
財政調整基金	40億9,524万円	41億3,063万円	41億3,589万円
減債基金	12億2,092万円	8億1,448万円	10億4,552万円
其他目的基金	68億6,043万円	72億3,812万円	70億6,996万円
合計	121億7,659万円	121億8,323万円	122億5,137万円



令和2年度において、主に積み立てたものとしては、ふるさと応援基金へ4億8,524万円、減債基金へ2億3,104万円です。

また、吉備庁舎大規模改修事業等を実施するために公共施設整備基金から4億2,530万円を取り崩し、其他目的基金から取り崩したものとしては、合併地域振興基金の1億2,237万円が主なものです。

主な財政指標



○経常收支比率について

当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があるとされています。

令和2年度の比率については、前年度に比べ3.1ポイント減少しました。

○財政力指数について

地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が1.0に近いほど財源に余裕があるとされています。

令和2年度の指数は0.348となっており、一般財源の多くを地方交付税等で賅っている状況です。

※各指標に係る、令和2年度の県内市町村平均値は公表されていません。

◆ 有田川町 ● 県内市町村平均

用語解説

水道事業／上水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済を行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

基金／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還（返済）を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことです。

一般会計予算の執行状況

歳入科目	予算額	収入済額
1 町税	28億1,794万円	21億4,518万円
2 地方譲与税	2億668万円	7,790万円
3 利子割交付金	280万円	170万円
4 配当割交付金	1,400万円	474万円
5 株式譲渡所得割交付金	1,800万円	0円
6 法人事業税交付金	740万円	1,472万円
7 地方消費税交付金	5億2,400万円	3億1,415万円
8 ゴルフ場利用税交付金	2,500万円	1,118万円
9 環境性能割交付金	900万円	415万円
10 地方特例交付金	4,040万円	3,029万円
11 地方交付税	61億3,000万円	45億4,476万円
12 交通安全対策特別交付金	220万円	129万円
13 分担金及び負担金	6,684万円	3,192万円
14 使用料及び手数料	1億2,847万円	4,213万円
15 国庫支出金	17億994万円	3億5,802万円
16 県支出金	14億5,262万円	1億1,995万円
17 財産収入	4,187万円	1,640万円
18 寄附金	10億410万円	1億853万円
19 繰入金	20億5,658万円	0円
20 繰越金	4億2,768万円	6億2,172万円
21 諸収入	1億9,621万円	7,593万円
22 町債	16億1,090万円	1,370万円
合計	184億9,262万円	85億3,835万円

歳出科目	予算額	支出済額
1 議会費	1億92万円	5,103万円
2 総務費	25億7,709万円	8億3,308万円
3 民生費	44億5,439万円	13億3,387万円
4 衛生費	14億8,466万円	5億5,570万円
5 労働費	1,061万円	254万円
6 農林水産業費	15億9,158万円	3億4,484万円
7 商工費	6億4,950万円	3億2,224万円
8 土木費	17億2,521万円	2億5,867万円
9 消防費	7億4,469万円	3億98万円
10 教育費	12億3,566万円	5億1,239万円
11 災害復旧費	2億1,842万円	9,323万円
12 公債費	25億9,137万円	12億4,566万円
13 諸支出金	10億7,910万円	1,066万円
14 予備費	2,942万円	0円
合計	184億9,262万円	58億6,487万円

特別会計予算の執行状況

会計区分	予算額	収入・支出済額
国民健康保険事業	35億3,379万円	収入済額 17億2,431万円
		支出済額 14億9,291万円
後期高齢者医療	7億6,242万円	収入済額 1億2,700万円
		支出済額 2億7,980万円
介護保険事業	33億565万円	収入済額 13億928万円
		支出済額 12億6,569万円
簡易水道事業	5億124万円	収入済額 9,343万円
		支出済額 2億4,802万円
農業集落排水事業	3億1,423万円	収入済額 2,477万円
		支出済額 1億2,484万円
簡易排水事業	209万円	収入済額 34万円
		支出済額 113万円
浄化槽事業	689万円	収入済額 192万円
		支出済額 155万円
かなや明恵峡温泉	7,553万円	収入済額 2,523万円
		支出済額 3,901万円
特別養護老人ホーム等事業	11万円	収入済額 228万円
		支出済額 6万円
公共下水道事業	12億7,200万円	収入済額 1億3,116万円
		支出済額 5億1,415万円
岩倉財産区管理会	6万円	収入済額 0円
		支出済額 0円
粟生財産区管理会	39万円	収入済額 40万円
		支出済額 0円
城山山林財産区管理会	196万円	収入済額 194万円
		支出済額 0円
八幡山林財産区管理会	85万円	収入済額 22万円
		支出済額 0円
安諦山林財産区管理会	8万円	収入済額 8万円
		支出済額 0円
合計	97億7,730万円	収入済額 34億4,235万円 支出済額 39億6,716万円

公営企業会計予算の執行状況

	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
1. 収益的収支	4億9,280万円	2億1,213万円	4億2,856万円	7,020万円
2. 資本的収支	1,536万円	0万円	1億8,162万円	8,123万円

町債および一時借入金の状況

会計区分	現在高
一般会計	163億2,374万円
簡易水道事業特別会計	20億8,953万円
農業集落排水事業特別会計	10億3,567万円
簡易排水事業特別会計	320万円
浄化槽事業特別会計	2,343万円
公共下水道事業特別会計	91億4,265万円
水道事業会計	4億5,895万円
合計	290億7,717万円
一時借入金 (一般会計および特別会計)	0円

基金の状況

区分	現在高
財政調整基金	41億4,567万円
減債基金	10億4,552万円
その他特定目的基金	70億7,066万円
合計	122億6,185万円

一般会計決算額を 町民1人あたりに換算すると…

1人当たりの町税負担額は **10万8,432円**
 1人あたりに使われるお金(繰り越し含む)
71万1,583円
 1人当たりの町債残高は **62万8,126円**

※人口(令和3年9月末現在)2万5,988人